

【表紙】

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年2月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第47期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日） |
| 【会社名】 | ぴあ株式会社 |
| 【英訳名】 | PIA CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 矢内 廣 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区東一丁目2番20号 |
| 【電話番号】 | 03(5774)5278 |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役コーポレート統括 吉澤 保幸 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区東一丁目2番20号 |
| 【電話番号】 | 03(5774)5278 |
| 【事務連絡者氏名】 | 常務取締役コーポレート統括 吉澤 保幸 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第46期 第3四半期連結 累計期間 | 第47期 第3四半期連結 累計期間 | 第46期 |
|----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 4月1日 至2018年 12月31日 | 自2019年 4月1日 至2019年 12月31日 | 自2018年 4月1日 至2019年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 135,984 | 128,012 | 179,969 |
| 経常利益 (百万円) | 1,143 | 662 | 1,348 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 739 | 308 | 817 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 755 | 337 | 828 |
| 純資産額 (百万円) | 6,529 | 6,234 | 6,601 |
| 総資産額 (百万円) | 48,377 | 52,716 | 62,699 |
| 1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円) | 53.32 | 22.61 | 59.14 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 13.3 | 11.7 | 10.4 |

| 回次 | 第46期 第3四半期連結 会計期間 | 第47期 第3四半期連結 会計期間 |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 10月1日 至2018年 12月31日 | 自2019年 10月1日 至2019年 12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失金 額() (円) | 14.05 | 1.17 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)財政状況及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。当社が事業基盤とする国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、“コト消費”ニーズの高まりに加えて、当社がチケット販売業務を受託したラグビーW杯日本大会の歴史的な成功、本番が近づく2020東京オリンピック・パラリンピックへの期待感もあって、近年の増加トレンドを維持し堅調に推移しております。

このような状況下、中期経営計画の2年目にあたる、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、概ね当初の想定通りに進捗しております。前年同期比では、音楽ジャンルを中心に大規模興行の取扱いが減少したこと、前年にはなかった新規事業の立ち上げ経費の計上等により、売上高・営業利益とも前年同期を下回る水準となりました。

以上の結果、当社グループの第3四半期の業績は、連結売上高1,280億12百万円(対前年同期比94.1%)、営業利益6億42百万円(同54.6%)、経常利益6億62百万円(同57.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億8百万円(同41.7%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

- ・プロ野球
- ・サッカーJリーグ
- ・「PIA MUSIC COMPLEX 2019」
- ・「S20 JAPAN SONGKRAN MUSIC FESTIVAL 2019」
- ・「THE YELLOW MONKEY」
- ・「ROCK IN JAPAN FES.2019」
- ・「UVERworld」
- ・「ONE OK ROCK」
- ・「KISS」
- ・「U2」
- ・「福山雅治」
- ・「Perfume」
- ・「WANIMA」
- ・「ARASHI Anniversary Tour5×20」

<商品>

- ・「夏ぴあ」「秋ぴあ」「冬ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版)
- ・「ラグビーぴあ」
- ・「ぴあ東京2020観戦予習ガイド」

(2)経営方針・経営戦略など

重要な変更等はありません。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

重要な変更等はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|--------|-------------|
| 普通株式 | 58,000,000 |
| A種優先株式 | 3,000,000 |
| B種優先株式 | 3,000,000 |
| C種優先株式 | 3,000,000 |
| D種優先株式 | 3,000,000 |
| 計 | 58,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在発行数 (株) (2020年2月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|---|---------------------------------|------------------------------------|-----------------------|
| 普通株式 | 14,657,613 | 14,657,613 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は、 100株であります。 |
| 計 | 14,657,613 | 14,657,613 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数 増減数(株) | 発行済株式総数 残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|----------------------------|-------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 2019年10月1日～ 2019年12月31日 | - | 14,657,613 | - | 4,924 | - | 685 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 971,200 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 13,680,500 | 136,805 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 5,913 | - | - |
| 発行済株式総数 | 14,657,613 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 136,805 | - |

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式83,600株(議決権の数836個)が含まれております。

2. 単元未満株式には当社所有の自己株式9株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|------------|---------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| ぴあ株式会社 | 東京都渋谷区東一丁目 2番20号 | 971,200 | - | 971,200 | 6.63 |
| 計 | - | 971,200 | - | 971,200 | 6.63 |

(注) 「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式83,600株は、上記自己株式等の数には含まれておりません。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は次の通りであります。

(1) 退任役員

| 役職名 | 氏名 | 退任年月日 |
|-------------------------------------|-------|-------------|
| 取締役 C I S O兼グローバルイベントプ ログラム担当 | 上村 達也 | 2019年 9月30日 |

(2) 役職の異動

| 新役職名 | 旧役職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|--|-----------------------------|-------|-------------|
| 取締役 C I S O 兼 システム担 当 兼 事業開発統括担当 兼 グローバルイベントプ ログラム担当 | 取締役 事業開発統括担当 兼 システム担当 | 長島 靖弘 | 2019年10月 1日 |

(3) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性14名 女性1名 (役員のうち女性の比率 6.7%)

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 25,206 | 16,697 |
| 売掛金 | 20,759 | 16,490 |
| 商品及び製品 | 167 | 108 |
| 仕掛品 | 0 | 3 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9 | 10 |
| その他 | 3,764 | 3,634 |
| 貸倒引当金 | 58 | 49 |
| 流動資産合計 | 49,850 | 36,895 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 68 | 61 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 272 | 201 |
| 土地 | 6 | 6 |
| 建設仮勘定 | 4,087 | 7,203 |
| 有形固定資産合計 | 4,435 | 7,473 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 3,452 | 4,126 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,005 | 390 |
| その他 | 59 | 59 |
| 無形固定資産合計 | 4,517 | 4,576 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 845 | 787 |
| その他 | 3,425 | 3,375 |
| 貸倒引当金 | 374 | 390 |
| 投資その他の資産合計 | 3,895 | 3,771 |
| 固定資産合計 | 12,848 | 15,821 |
| 資産合計 | 62,699 | 52,716 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 39,260 | 30,665 |
| 未払金 | 2,558 | 4,483 |
| 未払法人税等 | 745 | 16 |
| 賞与引当金 | 420 | 2 |
| 返品調整引当金 | 426 | 248 |
| 預り金 | 4,022 | 1,508 |
| その他 | 5,180 | 4,185 |
| 流動負債合計 | 52,614 | 41,110 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,850 | 4,750 |
| 退職給付に係る負債 | 99 | 92 |
| 資産除去債務 | 71 | 71 |
| 株式給付引当金 | 111 | 108 |
| その他 | 351 | 350 |
| 固定負債合計 | 3,483 | 5,372 |
| 負債合計 | 56,098 | 46,482 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,924 | 4,924 |
| 資本剰余金 | 1,105 | 1,121 |
| 利益剰余金 | 4,431 | 4,475 |
| 自己株式 | 3,904 | 4,331 |
| 株主資本合計 | 6,557 | 6,189 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25 | 23 |
| 為替換算調整勘定 | 66 | 50 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2 | 4 |
| その他の包括利益累計額合計 | 44 | 22 |
| 非支配株主持分 | 88 | 67 |
| 純資産合計 | 6,601 | 6,234 |
| 負債純資産合計 | 62,699 | 52,716 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 135,984 | 128,012 |
| 売上原価 | 125,238 | 117,747 |
| 売上総利益 | 10,746 | 10,264 |
| 返品調整引当金戻入額 | 562 | 426 |
| 返品調整引当金繰入額 | 316 | 248 |
| 差引売上総利益 | 10,992 | 10,442 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,816 | 9,800 |
| 営業利益 | 1,175 | 642 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 7 | 9 |
| 諸債務整理益 | 3 | 22 |
| 持分法による投資利益 | 27 | 10 |
| その他 | 2 | 3 |
| 営業外収益合計 | 41 | 46 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2 | 13 |
| 支払手数料 | 51 | 7 |
| その他 | 21 | 5 |
| 営業外費用合計 | 74 | 26 |
| 経常利益 | 1,143 | 662 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 99 |
| 為替換算調整勘定取崩損 | - | 33 |
| 特別損失合計 | - | 133 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,143 | 529 |
| 法人税等 | 390 | 212 |
| 四半期純利益 | 752 | 316 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 12 | 8 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 739 | 308 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 752 | 316 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | 18 |
| 退職給付に係る調整額 | 9 | 7 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 3 | 21 |
| 四半期包括利益 | 755 | 337 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 743 | 329 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 12 | 8 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(株式給付信託 (BBT))

当社は、取締役 (ただし、社外取締役を除きます。) 及び主席執行役員 (以下「取締役等」といいます。) に対して、当社株式等を信託を通じて給付する取引を行っております。

1. 取引の概要

当社は、取締役等の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役等が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託 (BBT) 」 (以下「本制度」といいます。) を導入しております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式等が信託を通じて給付される業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末及び当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、216百万円及び83,600株であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費 (のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。) は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 913百万円 | 1,010百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年5月9日 定時取締役会 | 普通株式 | 182 | 13 | 2018年3月31日 | 2018年6月19日 | 利益剰余金 |

(注) 2018年5月9日定時取締役会の決議による配当金の総額には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年5月9日 定時取締役会 | 普通株式 | 275 | 20 | 2019年3月31日 | 2019年6月18日 | 利益剰余金 |

(注) 2019年5月9日定時取締役会の決議による配当金の総額には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|------------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 53円32銭 | 22円61銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円) | 739 | 308 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円) | 739 | 308 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 13,873 | 13,625 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前第3四半期連結累計期間83,600株、当第3四半期連結累計期間83,600株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月12日

ぴあ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 矢野 浩一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井出 正弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているぴあ株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ぴあ株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。